

## NPO 法人静岡情報産業協会令和3年度事業計画(案)

1. 事業計画の概要
2. 事業の骨子

## I. 2020 年度事業計画(案)

自:2021 年 4 月 1 日

至:2022 年 3 月 31 日

## 1. 事業計画の概要

協会は平成 28 年度より、組織活性化委員会を中心に事業活動の見直しを図り、協会員の期待に応えるための活動形態を「人材育成・教育研修」、「ビジネス・マッチング」、「人材開拓推進」のそれぞれの事業の展開を担う部会として組織し、各事業部会が主体となって会員の要望を汲み上げてきめ細かく事業を展開してきた。

令和元年度には、NPO法人化以前から続いていた事務局体制も一新し、昨年度は任意団体として創立以来 30 周年を迎え、今後創始の精神をベースに、「情報の産業化・産業の情報化」に資する事業展開を進めた。

ところが、記念すべき 30 周年を迎えるとき、図らずも「コロナ禍」という世界規模のパンデミックの襲来により、これまで世界に後れをとっていた ICT 分野の推進にも俄然加速度が増している。

この静岡市においても静岡商工会議所会頭からも静岡市に対する ICT 促進要請が発せられるなど、デジタルトランスフォーメーション(DX)化に追い風が強まっている。

そこで、「人材育成・教育研修部会」では、この部会が有する特性を活かし、DX 時代における新たな技術や今後の ICT 業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナー、研修会を開催し、会員各層にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また、当協会の特色の一つでもある、地元の大学、専門学校などとの提携効果の成果も表れており、本年度もその関係を保ち更なる強化を図って、域地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育/研究力を高めることを目的に会員企業の技術者育成研修を継続する。

さらに、同部会事業として定着をしていた海外視察研修事業については、昨年度コロナ感染症の影響を受け断念する結果となり、今年度も見通しが立たないため、国内に視野を転じて、先進事例など学ぶべき候補地域も視野に入れつつ対象を広げて最終的な判断を行う。

次に、「ビジネス・マッチング部会」では、会員相互及び地域との交流を深め新たなビジネスの機会創生を図る機会を増やすことを目的に、会員企業が保有する自社の得意技術やサービスなどを発表し、そこから相互交流を発生させる試みを昨年度から始めてきた。

その後、コロナ禍によりリアルな場所での交流会の創設が困難となり、遠隔会議方式によ

る会員交流の方法に切り替えてノウハウの蓄積も進めることができた。

そこで本年度は、その結果を踏まえてリアルな場あるいはリモートのいずれでも可能な体制を用意し、更なる交流成果の向上を求めていく。

これと並行して、かねてより懸案であった会員企業の「わが社の一押し」をテーマにした、各社の特長や特性を訴求することを目的に、SIIA のウェブサイト上に各社のコンテンツを公開する。そして、公開後に会員交流会を通じて、会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスが創出することを狙いとする。

また、静岡商工会議所との意見交流に端を発した「小規模事業者向け業務アプリ作成」に関する研究会「Kintone Café」も実績を積み重ねてきた。その結果、今年度は協会会員が保有する技術やノウハウを提供し、商工会議所会員が抱える課題解決策に対して、当協会独自の具体策を提案できるような体制づくりを目指す。

一方、ICT 業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している「人材開拓推進部会」では、本年度も継続して同様のテーマにより地元 ICT 企業の人材確保をテーマに活動する。

中長期事業となる部会活動で 5 年目となる本年度は、昨年度からのコロナ禍による影響を逆手に取り、対面セミナーと比較して学生と企業相互に時間・空間的効果の大きい Web セミナーを活用し、併せてこれまで積み上げてきたインターンシップ事業のノウハウを活かし、リモート会議方式も視野に入れ、ICT 企業の魅力と仕事のやりがいを知る機会を提供する企画を実施する。

また、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業募集には今年度も応募して地域ビジネス活性化に資する活動を活発化する。

さらに、例年通りの地域連携事業に参加協力に加え、昨年度立ち上げを目指した静岡市 ICT 推進課との協働事業(仮称)「CIVIC TECH 静岡」の実現に向けて、地域のニーズ調査から SIIA 会員の参加によるアプリ作成などの成果を目指す。

## 2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会今期事業を次のように計画する。

### (1) 人材育成・教育研修部会の事業

- ① 通常総会開催時に講師を招き講演会を開催する。
  - ・実施時期: 令和 3 年 5 月 21 日
  - ・開催場所: 静岡商工会議所 5 階ホール
  - ・経費予算: 10 万円
  
- ② 視察やヒアリングを通して ICT 業界の最先端情報を収集する。
  - ・実施時期: 令和 3 年 6 月～令和 4 年 2 月
  - ・開催場所: 未定
  - ・実施内容: ICT 関連企業あるいは地域を訪問し、業界最先端技術情報収集
  - ・収入予算: 90 万円

・経費予算:100 万円

- ③ 地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施する。

・実施時期:令和 3 年 8 月～9 月

・予定人数:20 人

・開催場所:静岡大学

・収入予算:60 万円

・経費予算:108 万円

- ④ これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けのビジネス講座を実施する。

・実施時期:令和 3 年 11 月

・開催場所:静岡市産学交流センター等(未定)

・収入予算:40 万円

・経費予算:60 万円

- ⑤ 会員からのニーズに応じたセミナーを実施する(2回)。

・実施時期:令和 3 年 7 月、令和 4 年 2 月

・開催場所:静岡市産学交流センター等(未定)

・収入予算:20 万円

・経費予算:30 万円

- ⑥ 高校生向け ICT 講座を開催する。

・経費予算:20 万円

## (2)ビジネス・マッチング部会の事業

- ① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催する。

・開催時期:令和 3 年7月～令和 4 年 2 月の間で 4 回

・開催場所:静岡商工会議所会議室

・収入予算:10 万円

・経費予算:20 万円

- ② 会員企業交流サイトの制作およびウェブサイト上への公開

・SIIA 会員交流ウェブサイト公開用の動画を含むテンプレートの作成

・各社から提供されたコンテンツを SIIA ウェブサイトの特設サイトに公開

・会員交流会を活用した情報交換会、自社アピールセミナーなどを開催

・開催期間:令和 3 年 4 月～2 月

・経費予算:50 万円

③ 「Kintone Café」を開催し、参加者と小規模事業者向けアプリ開発を試行する。

・実施時期:令和 3 年 7 月～令和 4 年 2 月

・経費予算: 20 万円

### (3)人材開拓推進部会の事業

#### 1. 合同就職フォーラムの企画・立案

① 新規学卒者向けに、会員企業による Web セミナー開催し学生の業界に対する理解度を深める。

・収入予算:20 万円

・経費予算:90 万円

#### 2. インターンシップ制度の企画・立案

① 会員企業の合同インターンシップ制度を実施する。

② ICT 業界では、インターンシップ受け入れも実際の現場での体験が難しいため、従来型を一新し、学生の満足度を高める。

③ インターンシップ制度を「採用目的主体」を改め、「学生との接点増やし、業界知識を深めさせることにより、業界全体の応募者を増加させる」ものとしていく。

・経費予算:40 万円

3. 県外地域の教育機関と静岡出身学生の就職動向情報交換会を実施し、更には当協会会員の求人情報を直接発信して、翌年度の求人活動の一助とする。

・経費予算:3 万円

### (4)調査研究・交流促進の事業

① 総会時会員交流会を実施する。

・開催時期:令和 3 年 5 月 21 日(総会および講演終了後)

・開催場所:静岡商工会議所(オンライン開催)

・参加人数:50 人

・経費予算:12 万円

② 理事交流会を実施する

・収入予算:12 万円

・支出予算:12 万円

④ 総会・理事会・運営委員会・WG 等の会議開催費

・経費予算:22 万円

- ⑤ 必要な情報収集には WG メンバーを他地域視察に積極的に派遣し、助言・提言の情報量を増す。

(5) 地域連携事業

- ① 地域の団体・機関の実施する事業等に協力する。
- i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続  
・経費予算:25 万円
  - ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加する。  
・収入予算:30 万円
  - iii. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力する。
  - iv. IT 推進協議会に参加協力する。
  - v. 静岡市(ICT 推進課)との協働事業「CIVIC TECH 静岡」に参加協力する。  
・経費予算:40 万円
- ② 西部／東部ベンダー企業組織と活動を連携する。

(6) 広報事業

- ① 会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット作製、HP・サーバー管理等)  
・経費予算:60 万円

## 2021 年度 理事・役員候補案

## 1. 理事

日詰 一幸\*1

森永 春二

久保田 光二

稲葉 豊穂

漆畑 晃司

宇賀田栄次\*2

北川 幹根

小林 裕敏

齊藤 弘幸

山口 俊一

村松 克己

〇〇 〇〇\*3

渡邊 治彦

鈴木 裕 (就任内諾済み)

## 2. 監事

上田 和博

小谷 勇

吉兼 正哲

## 3. 相談役

鈴木 佐太郎

## 4. 事務局長

桜井 俊秀

\*1 静岡大学 石井学長から申し送り済み

\*2 静岡大学 岸本理事 ⇒ 後継者交渉中

\*3 ユニテック 後任代表

©2021 年度は役員改選期にあたり、理事長他は総会時に確定

## 2021 年度 事業部会メンバー候補案

(◎: 部会長、○: 副部会長) (敬称略)

## ◆人材育成・教育研修部会 (担当理事: 渡邊治彦、齊藤弘幸、漆畑晃司、久保田光二、日詰一幸)

◎米良直樹	mera@hamanako.co.jp	(株)浜名湖国際頭脳センター
○花澤真平	s_hanazawa@sbs-infosys.co.jp	(株)SBS 情報システム
○渡部竜也	t_watanabe@sbs-infosys.co.jp	(株)SBS 情報システム
有賀 浩	aruga@can.ac.jp	専門学校静岡電子情報カレッジ
石田雅司	masashi.ishida@lt-s.jp	(株)エル・ティー・エス
杉浦弘哲	hiroaki.sugiura@lt-s.jp	(株)エル・ティー・エス
鈴木 猛	suzutake@netinsz.co.jp	(株)静鉄情報センター
小豆川裕子	shozugaway@sz.tokoha-u.ac.jp	常葉大学経営学部
山田雅敏	yamada-m@sz.tokoha-u.ac.jp	常葉大学経営学部

## ◆ビジネス・マッチング部会 (担当理事: 北川幹根、小林裕敏、稲葉豊穂、森永春二)

◎磯田憲一	kenichi.isoda.uz@west.ntt.co.jp	NTT 西日本(株)
○山口俊一	shunichi@netinsz.co.jp	(株)静鉄情報センター
飯田憲二	kenji-i@kpnet.co.jp	(株)共立アイコム
松野奈々	nana-m@kpnet.co.jp	(株)共立アイコム
金指真澄	kanazashi@web-s.biz	(株)ウェブサクセス
関谷綾子	ayako-sekiya@bk2.so-net.ne.jp	関谷法律事務所
中島健太	knakajima@lt-s.jp	(株)エル・ティー・エス
野田翔太	shota.noda@lt-s.jp	(株)エル・ティー・エス
塩澤久寿	shiozawa@worksystem3529.jp	島田 ICT コンソーシアム

## ◆人材開拓推進部会 (担当理事: 村松克己、山口俊一、鈴木 裕、宇賀田栄次、○○○○)

◎渡辺篤	a-watanab@tcs-ipnet.co.jp	東京コンピュータサービス(株)沼津支店
○宇賀田栄次	ugata.eiji@shizuoka.ac.jp	静岡大学
兼子祿也	r-kaneko@tcs-ipnet.co.jp	東京コンピュータサービス(株)静岡支店
中島 督	nakaji@tcs-ipnet.co.jp	東京コンピュータサービス(株)沼津支店
小林博典	hironori.kobayashi@lt-s.jp	(株)エル・ティー・エス
杉山祐樹	y-sugiyama@unitec.jp	(株)ユニテック
中村健太郎	kentaro@can.ac.jp	専門学校静岡電子情報カレッジ
原田篤志	a-harada@sicis.co.jp	(株)静岡情報処理センター
阿比留英樹	hi-abiru@kentem.co.jp	(株)建設システム 静岡オフィス